

# 伊敷台中学校区における 「市長と語る会」発言に対する対応方針

〔開催概要〕

日時: 令和3年11月5日(水) 18:00~19:00

場所: 伊敷公民館

令和3年12月  
鹿児島市 市民協働課

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
1	伊敷校区コミュニティ協議会	① 伊敷地域は、市街地からのアクセスもよく、商業施設や医療施設などの日常生活に必要な施設もある程度集まっており、また豊かな自然にも恵まれていて子育てにはとてもよい環境だと思う。そこで、若者に定住してもらえよう働ける場所をつくり、魅力ある地域づくりを進めてほしいと考えているが、市長の考えを伺いたい。	① 若者定住のためには、まずはIT、観光を中心に稼げる仕事をつくる必要がある。 また、商売を行う上でも、今は市外、県外を相手に商売ができる時代であるので、そのための取組みに対しても支援をしていく。 地域への定住の観点では、近くに買い物ができる場所があるかどうかは重要な点であり、商店街の賑わい創出や活性化を行う事業者の支援や、空き店舗の有効活用を促す街なかりノベーション推進事業を通じ、まちづくりに熱心な若者を育てたり、空き店舗の活用によりまちの魅力を高め、住んでみたくなるまちづくりを進めている。下伊敷一丁目では、空き店舗を活用したカフェをオープンした事例もあるので、引き続き、こうした支援を活用していただけるよう取り組んでまいりたい。	産業局	【産業局】 市長回答のとおり。
2	伊敷台校区夢の里まちづくり協議会	② 伊敷台校区は団地が多く、少子高齢化に伴い、一人暮らしの世帯が増えてくると予想される。当協議会でも日ごろから、見守り活動や避難訓練を行っていて、地域でできることは地域で協力して行っていきたいと考えているが、生活の様々な場面で、一人暮らしでは大変なことがあると思うが、市としてはどのような対策を考えているのか伺いたい。	② 生活する上での困りごとや必要な支援などについては、まずは、地域の民生委員さんや、市が設置している「長寿あんしん相談センター」へご相談いただきたい。 高齢者への支援としては、令和元年度から地域の要支援者等の生活援助を行うボランティア団体を対象に補助を行っており、対象となる生活援助には調理支援、ゴミ出し、買物等がある。伊敷台校区を中心に活動している団体はまだいないようであるので、ぜひ地域にあった活動をご検討いただきたい。 健康面での支援として、伊敷台校区では、5か所の「お達者クラブ」、4か所の「よかよか元気クラブ」が活動しており、こうした活動を通じ支援を行っている。 また、伊敷地域は、地域の力が残っている。町内会加入率は他の地域より高い。地域の皆様の力を頼りにしながら、また市としてもできる限りの支援を行い、伊敷地域が住み続けたいと思えるまちになるよう取り組んでまいりたい。	健康福祉局	【健康福祉局】 市長回答のとおり。

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
3	特定非営利活動法人心のサポート親学	③ 2020年は前年と比較し子どもの自殺が100人近く増えている。長野県では若者の自殺対策として、行政が保護者向けセミナーを実施している。本市でも行政が主体となり、そうした研修の場が設けられないものか。また、教職員が子どもの心のケアを学ぶ場も必要である。子どもの心を学ぶことで、何か起こったときの声のかけ方や受け止め方が違ってくると思う。	③ 自殺を防ぐためには、悩んでいる方をいち早く見つけることが大切である。本市では、悩んでいる人に気づいて、声をかけ、話を聞いて、必要な支援に繋げていく、見守る人を養成するゲートキーパー養成講座を開催している。従来は民生委員など若者を見守る方を対象に開催していたが、今後より充実させるため、PTAや教職員にも対象を拡大し、受講していただけるよう働きかけを行っている。 また、県議時代に携わった鹿児島県家庭教育支援条例に基づく県の施策も取り入れながら、取り組んでいきたい。	健康福祉局  教育委員会	【健康福祉局】 市長回答のとおり。 保護者や教職員向けにゲートキーパー養成講座が開催できるよう、今後も、教育委員会等、関係機関との連携強化を図り、若年層への自殺予防対策に取り組んでまいりたい。  【教育委員会】 市長回答のとおり。
4	千年一丁目町内会	④ 団地周辺の環境整備で、特に草刈りが難しい状況である。 所有者である民間事業者には毎年、草刈り作業を依頼しているが、なかなか対応してもらえない。 冬場は落葉、夏場は道路まで草木が茂って困っている。町内でも清掃を行っているが、住民の高齢化もあり急斜面など対応が難しい状況である。 市として何か関わっていただけないか、市の管理地としてもらえないかお尋ねしたい。	④ 民間所有地の草刈りでご苦労されていることは担当課より報告を受けている。 法的には土地の管理は所有者の責任となるため、管理できていない土地等は、市から適切に管理するよう文書や口頭でお願いしている。今回お話しいただいた土地についても、これまででもご相談いただいた経緯があり、市から所有者に対しお願いしているところだが、なかなか対応いただけない状況であると伺っている。所有者に対しては、引き続き、粘り強くお願いしていかなければならないと思っている。 民間事業者の土地の市への移管については、管理費の問題があり、また、市全体のことになるため難しいと考えている。	環境局	【環境局】 市長回答のとおり。

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
5	伊敷校区コミュニティ協議会	⑤ 若い人に町内会に加入してもらうための取組みをお願いしたい。	⑤ 若い人の町内会加入については、地域に共通した課題であると認識している。 加入率向上については、まず市の職員に入ってもらい取組みを行っており、各部局の状況を定期的に報告を受けている。また、加入だけでなく担い手のこともあるので、職員の退職時には、今後町内会の活動に積極的に関わってもらいたい。 また、若い人は共同住宅に住んでいる人も多いため、開発事業者が開発等に係る手続きで市を訪れた際には、加入促進にご協力いただけるようお願いしている。 若い人の加入促進は重要な課題であるので、皆様からの提案をいただきながら取り組んでいきたい。	市民局	【市民局】 市長回答のとおり。
6	伊敷校区コミュニティ協議会	⑥ 町内会を脱会した人が、自分の家の近くにごみステーションを設置してもらいよう清掃事務所に要望し、2週間で設置された。 新たなステーション設置について、市から町内会に話も来ないし、市に問い合わせても、税金を納めている以上、仕方ないとの返答であった。 それでよいのか疑問である。ごみステーションをしっかり管理して、きれいなまちをつくるためにも町内会に入ってもらいたい。 また、ごみステーションは市で管理してもらいたい。	⑥ ご意見の具体的な内容については、担当課から報告を受けたい。 ごみステーションを市で管理するとなれば、例えば、ごみ収集の大幅な有料化など財源の課題があるため、現行の取組みでお願いしたい。 新たなごみステーションの設置にあたり、町内会に連絡がなかったことについては、情報提供、共有を徹底したい。	環境局	【環境局】 ごみステーションの設置・管理については、地域の実情等を把握している町内会等に今後もお願いしたいと考えている。 なお、町内会未加入者のごみステーションの利用については、維持管理費の負担や清掃活動などについて町内会等と協力して行っていただくようお願いしているところであるが、未加入者同士で設置をしている事例もある。 今後も未加入者がごみステーションを設置する場合は、関係する町内会等への情報提供を行ってまいりたい。

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
7	千年一丁目町内会	<p>⑦ 団地内の民間所有地の草刈りの件で、特に、団地入り口のバス停上、南側の飛び地になっている区画の周辺の2か所が困っている。危険な場所でシルバー人材センターにも受けてもらえない。</p> <p>一度、現地を見てもらい、何とか所有者で対応してもらえるよう市からもお願いしてほしい。</p>	<p>⑦ 該当の場所については、担当課に現地確認をさせ、住民の方から強い要望があったことを踏まえ、適切な対応をするよう所有者へ申入れをしたい。</p>	環境局	<p>【環境局】</p> <p>現場確認を行い、所有者に対し、町内会から草刈りの要望がある事を伝え、対応をお願いした。</p>
8	千年一丁目町内会	<p>⑧ 小学校区内で、花野光ヶ丘を担当する民生委員と千年を担当する民生委員で担当区が分かれており、同じ小学校区内で担当区の区割りが違うことで委員同士が会うことがない。小学校区と民生委員の担当区を合わせてもらえないものか。</p>	<p>⑧ 担当から考え方等についてお伝えしたい。</p>	健康福祉局	<p>【健康福祉局】</p> <p>各地区民生委員児童委員協議会の地区割については、「小学校区」または「中学校区」単位を基本として行っている。</p> <p>花野光ヶ丘を含む「西伊敷地区」及び千年を含む「伊敷地区」については、「中学校区」単位の地区割になっているため、1つの小学校区に対して複数の地区民生委員児童委員協議会が設置されている。</p> <p>地区割の変更については、各地区民生委員児童委員協議会が地区の実情に応じて検討し、市に要望していただく手続きとなる。</p>

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
9	伊敷校区コミュニティ協議会	<p>⑨ 今後、町内で空き家が増えてくることが予想され、治安や環境の問題など対応は待たない。空き家対策は、町内など狭いエリアで取り組めないかと思っているが、市長の考えを伺いたい。</p> <p>また、自分自身は子育て世帯で共同住宅で生活しているが、共同住宅では色々と制約がある。伊敷にはなかなか宅地がないが、若い人に住んでもらう、空き家を引き継いでもらうための支援はないものか。</p>	<p>⑨ 空き家対策で大切なことは、空いたらすぐ入ってもらうことである。</p> <p>どこが空いた、相続人はどこにいるなど地域の方がよく知っている。担当課を案内するので、町内会や地域で活動している方は、ぜひご相談いただきたい。</p> <p>団地の空き家は今後の大きな課題となる。団地内で若い世代に住み替えができることが理想である。県外に出た若い世代に帰ってきてもらう団地をつくることが重要であり、若い人たちに帰ってきてもらう方策については、皆様からも提案いただきながら考えていきたい。また、本市では団地再生プロジェクトを進めているので、本取組についても相談いただきたい。</p>	建設局	<p>【建設局】 市長回答のとおり。</p> <p>なお、空家の活用については、「空家活用アドバイザー」の派遣を行っており、町内会に対しては、空家を集会所として利用したい場合に空家所有者を調査し、同意が得られれば、両者を引き合わせ、契約等の相談に応じている。空家の所有者に対しては、賃貸や売買などの相談に応じ、空家の活用促進に取り組んでいる。</p> <p>また、近隣の方々から相談があった場合は、空家活用アドバイザーの派遣制度などについて、空家の所有者等へお知らせしたいと考えている。</p>
10	千年一丁目町内会	<p>⑩ 千年一丁目でも町内会加入率が低い。声かけをして数世帯に加入してもらったが、若い人は入ってくれない。</p> <p>若い人の町内会加入率が低いことを市民のひろばに掲載して、加入促進をしてほしい。</p>	<p>⑩ 町内会加入促進については、市民のひろばに掲載し取り組んでいる。</p> <p>若い人たちに町内会の大事さをどのように知ってもらうか、どのように接点を作っていくかについては、私も常々考えており、企業への働きかけ、企業の経営者と連携した取組を検討していきたいと思っている。</p>	市民局	<p>【市民局】 市長回答のとおり。</p>
11	市グラウンドゴルフ協会伊敷中央支部	<p>⑪ 昨年整備されたパークゴルフ場は眺めも良く、市民が集えるよい場所で大変感謝している。健康づくりにもなり、若い人から高齢者まで楽しめるので、ぜひ多くの皆さんに利用してほしい。</p> <p>600円の利用料金を500円ぐらいにしてもらえれば、もっとよい。</p>	<p>⑪ 整備に要した費用や他都市との比較など踏まえると、現行の料金でお願いしたいと思っている。</p> <p>パークゴルフやグラウンドゴルフをはじめ、体を動かすことは健康維持や介護予防に大切なことなので、皆様の健康づくりのため引き続き取り組んでいただければありがたい。</p>	観光交流局	<p>【観光交流局】 市長回答のとおり。</p> <p>なお、利用料金については、他都市の同種の施設ではほとんど整備されていないシャワーブースを完備した更衣室や授乳室を設置するなど、市内外からより多くの方が気軽に利用できるよう整備したことや、年間ランニングコストも踏まえて設定しているところである。</p>